



トウキョウサンショウウオの卵のうの感触を体感

身近にある豊かな自然を実感

里山で自然観察会

匝瑳地区宮本で4月20日、自然観察会が開催され、親子など17人が参加しました。参加者たちは、八木幸市先生（元敬愛大学八日市場高校教諭）、笠原孝夫先生（県立市原八幡高校教諭）の案内で、同地区の里山に生息する「トウキョウサンショウウオ」などを観察。体長2cm程の幼生やバナナ型をした卵のうを発見すると、参加者からは「初めて見た」「プニプニしている」など、普段見ることのない珍しい生き物に驚きの声を上げていました。

匝瑳の緑をPR

第8回匝瑳市植木まつり

生涯学習センターで5月3日～5日、第8回匝瑳市植木まつりが開催されました。

会場には、市内の植木生産者が丹精込めて作り上げたマツやツツジのほか、緑美しい鉢植木などが展示され、力作ぞろいの植木を買い求める来場者でにぎわいました。また、この催しは共進会も兼ねており、造形、花・緑化樹、鉢植木の3部門に総数4,200点余りが出品され、その出来を競いました。



会場いっぱい埋め尽くされた多様な植木

新緑に包まれた檀林に馬頭琴の柔らかなで奥行きのある音が響く



檀林の森にモンゴルの風

飯高檀林新緑祭

飯高檀林跡で4月27日、飯高寺講堂をステージにした第8回飯高檀林新緑祭が開催されました。

今回のゲストは馬頭琴奏者の美炎さん。馬頭琴とは、モンゴル遊牧民の間に古くから伝わる弦楽器で、美炎さんの演奏はチェロやバイオリンのような澄んだ音に加えて、哀愁を含んだ音質が特徴です。大杉に囲まれた境内に爽やかな風が吹く中、会場を訪れたたくさんの人たちは馬頭琴の音色に耳を傾けていました。

威勢の良い担ぎを披露

八日市場東照宮例大祭

中央地区の万町区で5月18日、八日市場東照宮例大祭が行われました。

当日は、水をかぶりたくなるような初夏を思わせる晴天。そろいの半纏を身にまとった担ぎ手たちが集まり、神輿は13時に東照宮をスタート。お囃子を先頭に地区内を威勢よく練り歩き、大勢の見物人を魅了しました。



家康公を祭る東照宮の神輿

災害時に飲料水提供

伊藤園と市が協定を締結

飲料大手の(株)伊藤園と市は、災害時に飲料水を提供してもらう協定を結びました。

この協定は、大規模災害が発生した場合、市の要請に基づいて同社が飲料水の提供、運搬に協力し、その費用を市が負担することと、併せて市管理の公共施設に設置されている災害対応型自動販売機から在庫品の無償提供が受けらることについて定めたものです。5月20日に市役所で行われた協定締結式で、太田市長は「大規模災害時には民間の協力が不可欠。大変心強い」と感謝を表しました。



協定を結び、握手を交わす太田市長(左)と千葉東地区営業部・山田地区部長



庭園散策を楽しむ来場者たち

庭園巡りと里山散策

ガーデン・オープン・チャリティ

飯高地区安久山で5月3日～6日、ガーデン・オープン・チャリティが開かれました。

メイン会場となった平山邸には市指定天然記念物の大スダジイがあるほか、ツツジや山野草などが植えられており、庭園と合わせてNHKの「映像に残したいニッポンの里山100選」に選定された里山の景色を見ようと多くの人が訪れました。

日本では珍しい自然ふ化

熱田さん方でダチョウが2羽誕生

野田地区今泉の熱田孝雄さん方で5月中旬、飼育するダチョウが生んだ卵から2羽のひなが自然ふ化しました。

ダチョウの卵は湿度に弱く、日本の気候は自然ふ化に適していないことから、ふ卵機を使い人工的にふ化させるのがほとんど。今回のように親鳥が卵を温めてひながかえるのはとても珍しいとのこと。親鳥は他にも4個卵を温めており、熱田さんは「あと何個かえるか分からないが、続いて行ってほしい」と期待していました。



ダチョウを見守る熱田さんと親鳥の足元を動き回る2羽のひな



人形を使って心臓マッサージの練習

将来役に立つ経験を 子ども向け救命救急講習

市民ふれあいセンターで4月19日、(一社)八日市場青年会議所主催の子ども向け救命救急講習が開かれました。

同会議所がこれまで行っていた定例会事業を、「子どもたちに将来役に立つ経験を」と、子ども向け講習会として今回初めて開催したもので、市内の小学5、6年生を中心に31人が参加。子どもたちは、講師の消防署職員の指示により、道に倒れている人がいたという設定で、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。